



動詞の価標(項)を知り、理解する

価標(Valenz)の意味

「価標(Valenz)」という言葉は、もともと化学の分野に由来しています。化学では、ある原子が他の原子と結合する能力を指します。この「結合する」という考え方が、動詞の価標の定義を理解する上で非常に重要になります。

言語学において「動詞の価標(Verbvalenz)」とは、文法的に正しく、完全な文を成立させるために、その動詞が必須として要求する要素(文の成分)を自身に「結合させる」特性のことです。

動詞は文の中心となる核(Kopf)であり、あたかも磁石のように、特定の数の「項(こう)」を引きつけます。この「項」の数が、その動詞の「価標」となります。

価標の特性

動詞の価標を理解するための二つの重要な特性があります。

1. 項の種類の決定: 動詞は、要求する文の成分の種類を決定します。具体的には、主語(主格)が必要か、目的語(対格、与格)が必要か、あるいは前置詞を伴う補語が必要か、などを決定します。
2. 項の数の決定: 動詞は、要求する文の成分の数を決定します。動詞によっては、ゼロから最大四つまでの項を要求することがあります。

必須の補語(Ergänzung)と任意の付加語(Angabe)

動詞の価標によって要求される要素は「補語(Ergänzung)」と呼ばれ、これは文を成立させるために不可欠です。これらが欠けると、文は文法的に不完全になります。

一方、「付加語(Angabe)」は、時間、場所、様態などの追加情報を提供するものであり、文法的には必須ではありません。

|

| 要素の種類 | 特徴 | 例 |

| 補語(必須要素) | 動詞の価標によって必須とされる。省略すると文が成り立たない。 | 主語(～が)、目的語(～を)、与格(～に)など |

| 付加語(任意要素) | 文法的に必須ではない。省略しても文は成立する。 | 時間(明日)、場所(公園で)、様態(速く)など |

例:

- 必須の補語: 彼は私に****本を渡した。(「彼が」「私に」「本を」の三つの項が必須)
- 任意の付加語: 彼は昨日****図書館で私に本を渡した。(「昨日」「図書館で」は省略可能)

価標(項)の数による動詞の分類

動詞は、要求する項の数(0から4)によって分類されます。

1. ゼロ価動詞(0項動詞 / Nullwertige Verben)

必須の補語を一つも要求しない動詞です。ドイツ語では、主語として形式的な要素「Es」が使用される非人称的な現象を表す動詞が該当します。

- 動詞の例: *schneien* (雪が降る), *regnen* (雨が降る), *donnern* (雷が鳴る)
- 文の例: *Es regnet.* (雨が降っている。)
 - この場合、「Es」は文法的な位置を埋めるだけで、実質的な項としては数えません。

2. 一価動詞(1項動詞 / Einwertige Verben)

必須の補語を一つだけ要求する動詞です。通常、主語(主格)のみが必要です。これらは自動詞(他動詞を伴わない動詞)を含みます。

- 動詞の例: *schlafen* (眠る), *wachsen* (成長する), *atmen* (呼吸する)
- 文の例: *Der Vater schläft.* (父は眠る。)
 - 必須の項: *Der Vater* (主語)

3. 二価動詞(2項動詞 / Zweiwertige Verben)

必須の補語を二つ要求する動詞です。主語と、もう一つの補語(通常は対格目的語、あるいは他の補語)が必要です。これらは他動詞(対格目的語を伴う動詞)を含みます。

- 動詞の例: *lieben* (愛する), *schreiben* (書く), *wohnen* (住む)
- 文の例: *Ich liebe dich.* (私はあなたを愛している。)
 - 必須の項: *Ich* (主語) + *dich* (対格目的語)
- 文の例(目的語を省略可能): *Ich schreibe.* (私は書く。) / *Ich schreibe einen Brief.* (私は手紙を書く。)

4. 三価動詞(3項動詞 / Dreiwertige Verben)

必須の補語を三つ要求する動詞です。主語に加えて、二つの補語(典型的には与格と対格の二つの目的語)が必要です。

- 動詞の例: *geben* (与える), *schenken* (贈る), *wünschen* (願う)
- 文の例: *Ich gebe dir ein Buch.* (私はあなたに本をあげる。)
 - 必須の項: *Ich* (主語) + *dir* (与格補語) + *ein Buch* (対格目的語)

5. 四価動詞(4項動詞 / Vierwertige Verben)

必須の補語を四つ要求する動詞です。主語に加えて、三つの補語(多様な種類の目的語、前置詞補語など)が必要です。四価動詞および対応する文は、ドイツ語では比較的まれです。

- 動詞の例: *antworten* (答える), *verkaufen* (売る)
- 文の例: *Ich kann ihm auf seine Drohung nur mit einer Anklage antworten.* (私は彼の脅しに対して、訴追でのみ答えることができる。)
 - 必須の項: *Ich* (主語) + *ihm* (与格) + *auf seine Drohung* (前置詞補語) + *mit einer Anklage* (前置詞補語)

- この場合、文の構成要素すべてが動詞に結びついています。

具体的な例

理論的な解説は以上です。理解を深めるために、いくつかの価標の例を見てみましょう。

| 価標の数 | ドイツ語の文 | 項の識別 |

| ゼロ価 | Es nieselt. (霧雨が降っている。) | 項なし (形式的な "Es" のみ) |

| 一価 | Tiere atmen. (動物は呼吸する。) | Tiere (主語) |

| 二価 | Das Buch besteht aus acht Kapiteln. (その本は8章から成る。) | Das Buch (主語) + aus acht Kapiteln (前置詞補語) |

| 三価 | Wir wünschen dir viel Erfolg. (私たちはあなたに大きな成功を祈る。) | Wir (主語) + dir (与格) + viel Erfolg (対格) |

| 四価 | Lisa verkauft ihre Wohnung an ein Pärchen mit hohem Einkommen. (リサは高収入のカップルに自分のマンションを売る。) | Lisa (主語) + ihre Wohnung (対格) + an ein Pärchen (前置詞補語) + mit hohem Einkommen (付加語ではない補語として機能) |

練習問題

以下の文の動詞の価標は、何価でしょうか？

1. *Ich liebe dich.*
2. *Sie schenken mir ein Auto.*
3. *Es regnet.*
4. *Die Mutter schläft.*
5. *Ich lese ein Buch über die Ereignisse im Zweiten Weltkrieg.*

解答

1. *Ich liebe dich.* (二価動詞)
2. *Sie schenken mir ein Auto.* (三価動詞)
3. *Es regnet.* (ゼロ価動詞)
4. *Die Mutter schläft.* (一価動詞)
5. *Ich lese ein Buch über die Ereignisse im Zweiten Weltkrieg.* (二価動詞 - 「über die Ereignisse...」は「ein Buch」の内容を説明する付加語/修飾語であり、動詞 *lese* の必須の補語ではないため)

まとめ

動詞の価標は、文が成立するための設計図です。どの要素が「装飾(付加語)」で、どれが「柱(補語)」なのかを見分ける能力は、言語習得、特にドイツ語の正確な理解の鍵となります。

このテーマは複雑ですが、可能な限りドイツ語を話すことで、価標の概念を直感的(intuitiv)に使えるようになります。